

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 31日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市中区南仲通2-15

氏名 丸全昭和運輸株式会社
代表取締役社長 浅井 俊之

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	丸全昭和運輸株式会社 代表取締役社長 浅井 俊之				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市中区南仲通2-15				
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業			
	中分類	44 道路貨物運送業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,706	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

〔基本方針〕 改正省エネルギー法に準じ年/1%の削減を目標とする。

〔主要なエネルギー使用設備の更新等の検討〕

①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備

- （1）本社ビル新館照明のLED化（2018年度実施済）
- （2）本社ビル本館照明の一部LED化（2018年度実施済）
- （3）大黒定温倉庫照明の一部LED化（2018年度一部実施済）

→引き続き（3）を推進する予定です。

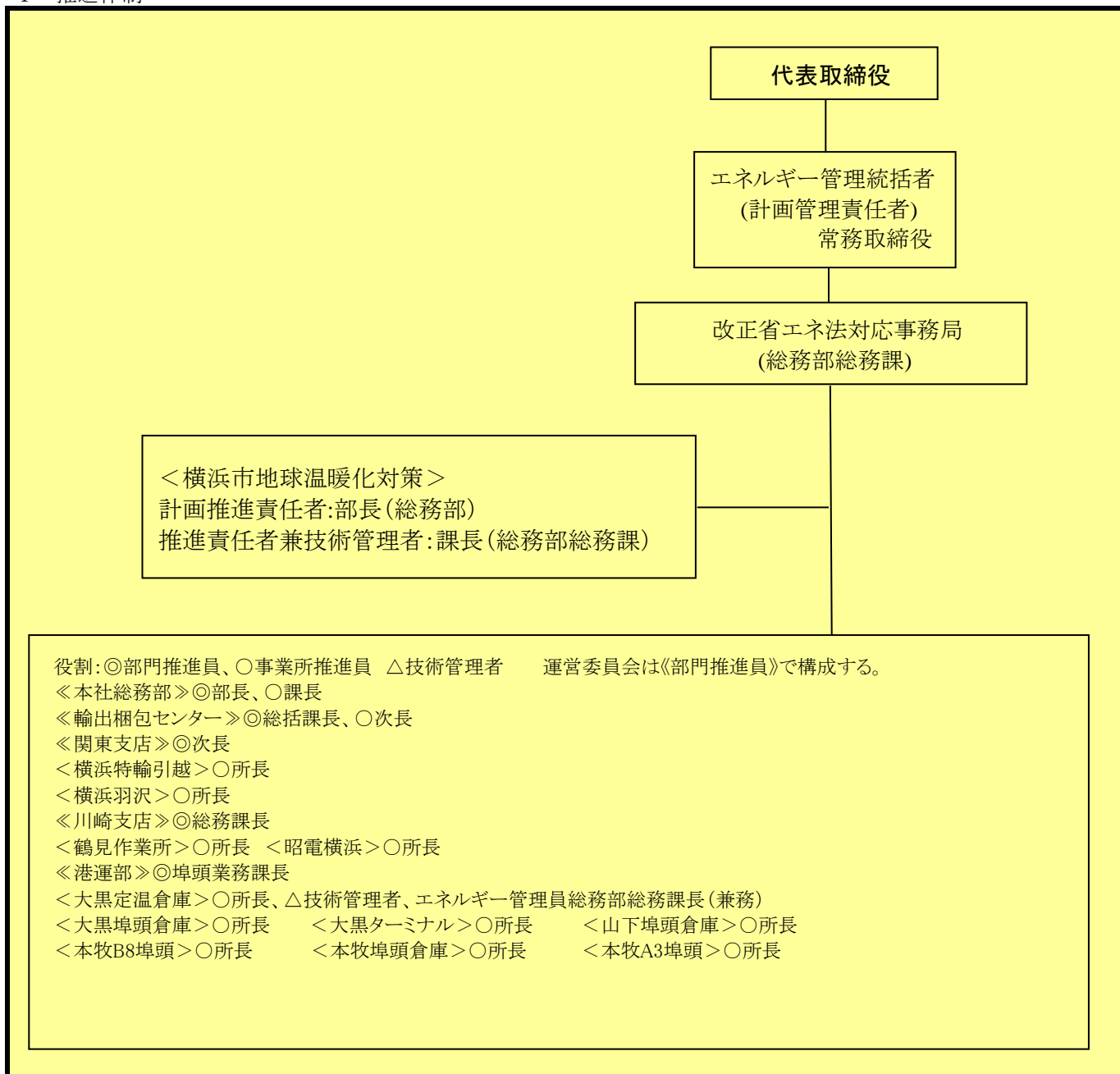
②上記①の設備を選択した理由

（共通）設備の老朽化が見られ、更新が必要であり、また更新によりエネルギーの削減が見込める為。

③設備更新スケジュール

（共通）2021年度中

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	総務部総務課
	所在地	横浜市中区南仲通2-15
	閲覧可能時間	平日 9:00~17:00 (12:00~13:00を除く)
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	4,805	t-CO ₂				基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後	4,716	t-CO ₂				目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (2018年度)	目標排出量	4,545	t-CO ₂	削減率	5.4	%	削減率	%	
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	経済産業省の年1%削減に見習う。								
事業者全体としての 目標等	上記と同じ								
第一年度 (2016年度)	排出量	5,177	t-CO ₂	削減率	▲ 7.8	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後	5,041	t-CO ₂	削減率	▲ 6.9	%		削減率	%
目標等の達成状況 及び説明	貨物取扱量が増加した事により、稼働時間も増加した為、電気等の使用量が増加してしまっ た。 本社ビルにおいては照明のLED化等をビルメンテナンス業者を交えて協議を行い、対象箇所の 洗い出しを行った。								
第二年度 (2017年度)	排出量	5,993	t-CO ₂	削減率	▲ 24.7	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後	5,825	t-CO ₂	削減率	▲ 23.5	%		削減率	%
目標等の達成状況 及び説明	本社ビルにおいては、照明の一部LED化を実施するなど、対応を進めた。然しながら、最 もエネルギー消費の多い、大黒定温倉庫での業務量が増えた為、大幅な電気使用量の増加と なった。その他の事業所についても業務量が増えており、エネルギー使用量が増えている。 本社ビルにおいては、来年度も引き続きLED化工事を予定している他、大黒定温倉庫におい ても倉庫内水銀灯のLED化を順次実施する予定である。								
第三年度 (2018年度)	排出量	5,728	t-CO ₂	削減率	▲ 19.2	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後	5,482	t-CO ₂	削減率	▲ 16.3	%		削減率	%
目標等の達成状況 及び説明	本社ビルにおいては、照明のLED化を新館全てで実施するなど、対応を進めた。個別表作 成対象事業所である大黒定温倉庫では、昨夏の猛暑の影響などから貨物を保護するため空調が 強く入っており、業務量に対して大幅な電気使用量の削減にはつながらなかった。また、本社 ビルにおいては、照明のLED化工事予定は完了した為、次年度以降の計画において空調機等 別の機器について省エネ対応を検討している。尚、大黒定温倉庫において現在推進中の倉庫内 水銀灯のLED化についても引き続き順次実施する予定である。								
計画期間全体の排 出状況に関する説 明	好調な経済を反映し、各事業所とも業務量が増えた3か年となった。これに伴い、燃料・電気 等の使用量も増加となっている。また、計画期間中に本社ビルの照明は効果の見込める部分の 全てLED化を実施した。各事業所においても水銀灯からLED照明への切替、各種荷役機器の新機 種への切替等を通じて省エネ化を推進している。次の計画期間においては、倉庫照明の水銀灯 からLED照明化を完了させるよう取り組んでいく。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満			1	3,318	1	4,056	1	3,748
500k1以上 1,500k1未満	1	3,076						
500k1未満	13	1,729	13	1,859	13	1,937	13	1,980
合計	14	4,805	14	5,177	14	5,993	14	5,728

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	14/14	—	年度		実施済	14/14	—	年度		実施済	14/14	—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	14/14	—	年度		実施済	14/14	—	年度		実施済	14/14	—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/14	—	2017年度		整備中	0/14	—	2020年度		作成に手間取った為、継続して整備中	実施中	0/14	—	2020年度		作成に手間取った為、継続して整備中
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/14	—	2017年度		有効な対策を検討中	0/14	—	2020年度		引き続き有効な対策を検討中	実施中	0/14	—	2020年度		引き続き有効な対策を検討中
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2017年度		データ把握中	0/1	—	2020年度		データの把握方法を再度検討中	実施中	0/1	—	2020年度		データの把握方法を再度検討中
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2017年度		図面の整備中	0/1	—	2020年度		引き続き図面の整備中	実施中	0/1	—	2020年度		引き続き図面の整備中
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2017年度		検討中	0/1	—	2020年度		環境測定の実施を検討中	実施中	0/1	—	2020年度		環境測定の実施を検討中
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2017年度		検討中	1/1	—	年度		書類の整備を行った上で、定期的に清掃を実施した	実施済	1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2017年度		検討中	0/1	—	2020年度		業者も交え検討中	実施中	0/1	—	2020年度		業者も交え検討中
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2017年度		検討中	0/1	—	2020年度		業者も交え検討中	実施中	0/1	—	2020年度		業者も交え検討中
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	1/14	—	2017年度		エアコン温度設定について通知済、本社以外の室内環境測定は未実施	1/14	—	2020年度		エアコン温度設定について通知済、本社以外の室内環境測定の実施検討中	実施中	1/14	—	2020年度		エアコン温度設定について通知済、本社以外の室内環境測定の実施検討中
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度		地下駐車場無し	/	—	年度		地下駐車場無し	非該当	/	—	年度		地下駐車場無し
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	1/14	—	2017年度		費用対効果を検討中業者との打合せも数度実施	1/14	—	2020年度		予算取得し一部実施次年度以降	実施中	1/14	—	2020年度		本社は完了。他倉庫照明（水銀灯）のLED化は2020年度中に完了するよう計画
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	14/14	—	年度		画面の省電力モード設定をすすめるに通知済	14/14	—	年度			実施済	14/14	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度		対象設備無し
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	未実施	未実施	(設備の種類) コンプレッサ 0/2	—	年度		適正化検討中	(設備の種類) コンプレッサ 0/2	—	年度		適正化検討中	未実施	(設備の種類) コンプレッサ 0/2	—	2020年度		適正化検討中
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		燃蒸倉庫内に設置の為	(設備の種類) /	—	年度		燃蒸倉庫内に設置の為	非該当	(設備の種類) /	—	年度		燃蒸倉庫内に設置の為

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		0.45 %		5,728		39.5		13.6		26					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	本社ビル新館及び1階照明LED化	本社	2018	FLR40W×1 8台 FLR40W×2 164台 FL20W×2 3台 IL100W 3台 IL60W 3台 FCL30W×6 18台 他	上記以外の買電	77,177	kWh	39.5	左記LED同等品	上記以外の買電	26,525	kWh	13.6	25.9	6,600 千円
															千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明	2018年度	LED照明224台（主にFLR型からの代替）	CO2 - 26 t 削減
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	246	東京電力エナジーパートナーオリックス
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	ゴミの分別管理。
計画期間内に実施する対策	廃棄物の分別を徹底し、廃棄物の適正な管理とリサイクルの推進を目指す。
第一年度実績	ゴミの分別管理や消灯等については社員の意識が高まっております。
第二年度実績	引き続き、ゴミの分別管理実施しております。古紙に関しては共同回収を利用する等の工夫を行っております。また、クールビズ期間の設定、消灯管理他、省エネルギーへの取組を実施するよう全社・全従業員に本年度も改めて周知徹底しております。
第三年度実績	引き続き、ゴミの分別管理を実施しております。古紙に関しては共同回収を利用する等の工夫を行っております。また、2018年度は新たな取り組みとして、クールビズ期間に階段利用促進キャンペーンを実施し、省エネ等への協力を従業員に要請いたしました。

14 実施状況等に対する自己評価

2018年度も一定の費用を掛けて設備改良を実施いたしました。倉庫内照明や荷役機器などはまだ省エネ化の余地がありますので、必要な費用を掛けて省エネ化に努めてまいります。
その他の対策として、エレベーター利用から階段利用を促す掲示やアナウンスを実施しました。
ハード面、ソフト面を引き続きチェックし、省エネ化に努めます。